

1999年1月1日～2020年12月31日の間に

## 総合医療センター総合外科（旧川崎病院外科）において動脈疾患に 対する手術を受けられた方、および附属病院および総合医療センター （旧川崎病院）において病理解剖をされた方のご遺族へ

—「動脈疾患のメカニズムを解明するための病理学的検討」へのご協力をお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学附属病院 病院病理部 部長（教授）森谷卓也  
研究分担者

川崎医科大学総合医療センター 病理部 部長 物部泰昌  
川崎医科大学総合医療センター 総合外科学 臨床助教 磯田竜太郎  
川崎医科大学総合医療センター 総合外科学 特任教授 森田一郎  
川崎医科大学総合医療センター 総合外科学 特任准教授 石田敦久

### 1. 研究の概要

動脈には、動脈硬化症や動脈瘤など、さまざまな病気があります。いろいろな原因で動脈に障害が起こるのですが、病気のメカニズムの一つとして、動脈そのものの細胞（動脈のかべの細胞）が酸素不足に陥っているのではないかという指摘がなされていますが、詳しくはわかっていません。この研究の目的は、動脈のかべに栄養を与えている小さな血管にどのような異常が生じているのかを明らかにすることです。この研究では、動脈のかべの小さな血管の性質の変化を顕微鏡で観察することにより、動脈疾患の成り立ちや進行の様子を明らかにしてゆきます。その結果、動脈疾患の予防推進、診断法の検討と、新たな治療法の開発の足掛かりを作るといふ、医学上の貢献がなされることが考えられます。

### 2. 研究の方法

#### 1) 研究対象者

1999年1月1日～2020年12月31日に川崎医科大学総合医療センター（旧川崎病院）で動脈疾患の手術を受けられた方200名、および同じ時期に川崎医科大学附属病院および川崎医科大学総合医療センター（旧川崎病院）で病理解剖をされた方それぞれ50名を対象とします。

#### 2) 研究期間

倫理委員会承認日～2021年7月31日

#### 3) 研究方法

1999年1月1日～2020年12月31日に川崎医科大学総合医療センター（旧川崎病院）で動脈疾患の手術を受けられた方で、その際に患者さんから取り出された組織（保管検体）を研究に使用することに同意していただいている方です。また、1999年1月1日～2020年12月31日に川崎医科大学附属病院または川崎医科大学総合医療センター（旧川崎病院）で病理解剖された方も対象とします。全体で300名（手術200名、病理

解剖 100名) について、病理組織標本の観察と病歴について調べます。

#### 4) 使用する試料・情報の種類

情報：手術患者さんは、カルテ番号、病理検体番号、年齢、性別、病理検査結果、検査データ、手術後の経過、等。病理解剖の患者さんは病理解剖番号、年齢、性別、診断名、等。

試料：動脈の病理組織。

#### 5) 試料・情報の保存

この研究に使用した試料・情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学病理学内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。

#### 6) 研究計画書および個人情報の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、あなたが希望される場合にのみ行います。あなたの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、保佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、あなたの試料・情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、（2021年6月30日までの間に）下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

#### <問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 病院病理部

部長（教授）森谷（もりや）卓也

電話：086-462-1111 内線 44514 （平日：8時30分～17時）

ファックス：086-462-1199

電子メール：tmoriya@med.kawasaki-m.ac.jp

### 3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です。>

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。